

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

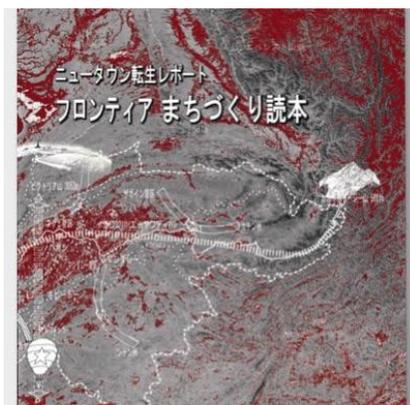
ふろたん通信

2022年12月6日 広報センター No. 45



ワールドカップ・カタール大会で少し賑う中で**2022年の師走を迎えました。**
今年の「通信」最終号は、ふろたん工房の二つの研究会「二都研」と「創生研」の
報告号、二つ並べて特集を組むのは**2020年2月の通信34号以来です。**

◆「二都物語研究会」通称「二都研」



2012年3月にミャンマーの建設省視察団7名の来日がきっかけになって「二都物語研究会」第1回が2012年9月12日にスタートしました。

2014年2月22日初版発行の「ふろたん工房」が設立準備室の時代に出版した本「フロンティアまちづくり読本」の中のプロローグで「二都研」のことを書き、エピローグでは事務局 UR リンケージと入江三宅設計事務所の名を挙げ、最終ページには開発構想研究所の大場さんが作成したミャンマーの都市名ピックアップした「自然豊かな国土の均衡ある発展を目指して」という図を掲載しています。

このような長い歴史を背負った「二都研」第43回が2022年11月18日（金）開構研チームの担当で虎ノ門会議室で開催されました。

発表者は浜さんで国連ハビタット主催の第11回世界都市フォーラムの報告の後、意見交換しました。

出席者；浜・大場・長野・室井・宇塚の5名でした。

「二都研」は次回春；入江三宅チーム、夏；UR リンケージチーム、秋；URJICA チームで開催の予定です。

◆「復興都市研」改め「創生研」

2020年2月の通信34号では「復興都市研」と「創生研」のことを次のように紹介しています。

「復興都市研究会」

2011年3月11日の東日本大震災から1年を迎えようとしていた2012年2月に被災地の復興に取り組んでいた都市計画コンサルタントの有志13名が復興に役立てる具体実践的なプランづくり取り組もうと立ち上げた「復興都市研究会」は、

事務局は昭和(株)で座長はスタート時から一貫して松村忠雄さんが勤めておられ、「復興まちづくりレポート2017」を全日本土地区画整理士会会報に発表しています。



「復興都市研究会」から「都市創生研究会」へ

東日本大震災復興の一段落後、「地方都市活性化のあり方」を研究するため「復興都市研究会」の名称を「都市創生研究会」に切り替えメンバーはそのままで活動開始。

- 第1回 2018年4月16日 研究都市の絞り込み
- 第4回 2018年12月10日 沼田市現地調査視察
- 第9回 2020年2月6日 湯河原町現地調査視察・2月26日報告会
- 第11回 2020年4月14日新型コロナウイルス蔓延で中止

そして研究会活動中断が続く10月17日、松村さんから各メンバーに研究会のこれからを尋ねるメールがあり、**2022年10月24日研究会解散**のメールが届きました。そこには次のように書かれていました。

「長い間のご協力ありがとうございました。今後につきましては研究会仲間として折角できましたご縁を継続していきたいというご意見も多くありましたので懇親会的な形で気軽に議論できる会合を続けていきたいと考えています。」

→会合は来春になりそうですが楽しみにお待ちしております！